

安全運転アドバイス

「よくある事故」の防止編



自動車事故※1の7割以上を

- バック時の事故
- 追突事故
- 出会い頭事故
- 右左折時の事故

が占めています。

※1 当社自動車保険において、自動車の運転に関して保険金をお支払いした事故。

事故防止のポイント

自動車事故の **19.3%**

自動車事故の **19.0%**

バック時の事故を防止するために

主な原因: **安全不確認 等**

- ・ミラーやバックモニターだけに頼らず、目視で安全確認。
- ・見えないときは、いったん下車して安全確認。
- ・ゆっくりと歩くくらいの速度でバック。

特に注意する場所
駐車場

追突事故を防止するために

主な原因: **脇見運転・動静不注視※2 等**

- ・前の車の不意な減速・停止を予測しながら運転。
- ・低速で走行中であっても、しっかり集中。
- ・余裕を持った車間距離を確保。

特に注意する場所
直線道路・交差点

出会い頭事故を防止するために

主な原因: **安全不確認・一時不停止 等**

- ・一時停止の道路標識がある交差点では、完全に車輪を止めて、左右の安全を確認。
- ・住宅街では自転車・歩行者の飛び出しに注意。

特に注意する場所
信号がない交差点

右左折時の事故を防止するために

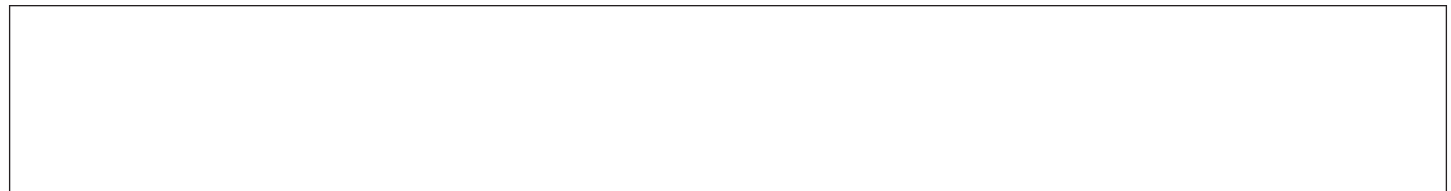
主な原因: **安全不確認・動静不注視※2 等**

- ・右折時は、対向車の陰に隠れた危険を予測。
- ・左折時は、車両の死角を意識し、左後方の巻き込みに注意。
- ・横断歩道上の歩行者・自転車にも十分に注意。

特に注意する場所
市街地の交差点

※2 動静不注視とは、相手の存在を発見していたが、危険はないと判断し、その動静の注視を怠ったことをいいます。

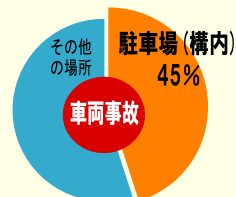
あたり前のことを確実に行うことが事故防止につながります。ぜひ安全運転をお願いします。



駐車場事故の防止編

※
車両事故の45%は駐車場（構内）で発生しています!!

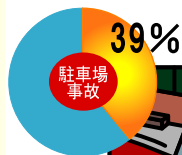
※車両事故：車両保険金支払事故



駐車場での事故パターン

1 バック時

駐車場でのバック時に、他の車両や塀、柵などに衝突する事故が多くなっています。



バック事故防止のポイント

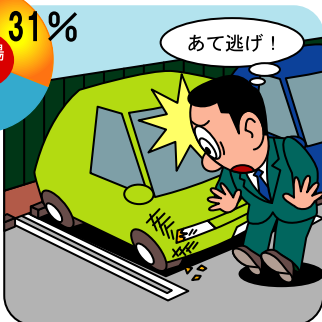
- ・ミラーやバックモニターだけに頼らず、目視で後方や側方の安全確認を行いましょう。
- ・ゆっくりと歩くくらいの速度でバックしましょう。
- ・窓を開けて車の音や歩行者の音が聞こえるようにしておきましょう。



駐車場では後向き駐車を心がけましょう!

※駐車スペースに「前向き駐車」を指示されている場合は、その指示に従いましょう

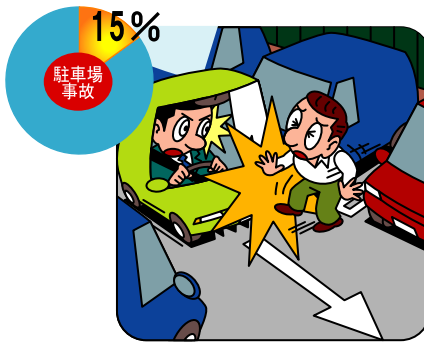
2 駐車中



駐車中は、「あて逃げ」や「いたずら」が多くなっています。

- マナーの悪い車の隣への駐車は避けましょう。
- 駐車スペース内にきちんと駐車しましょう。

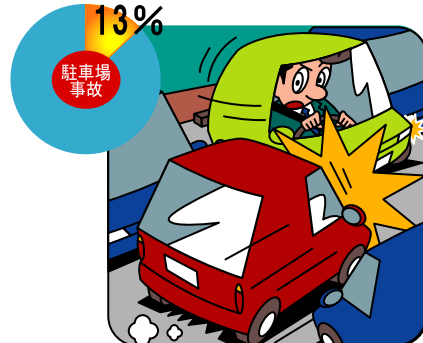
3 走行中



走行中は、突然発進してくる車や駐車車両の間から出てくる歩行者との衝突が多くなっています。

- 駐車場内は徐行して進行しましょう。
- 他車の動きや歩行者の有無に注意しましょう。

4 発進時



発進時は、走行車両や左右の駐車車両への接触が多くなっています。

- 急発進はせず、ゆっくり発進しましょう。
- 左右の駐車車両との間隔に注意しましょう。

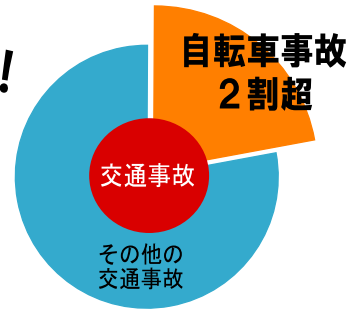
(当社車両保険金支払データによる)

自転車事故の防止編

自転車事故は交通事故全体の2割を超えています!!

※交通事故：警察に届出のある人身事故

近年、自転車が関連した人身事故は、交通事故全体の2割を超えています。しかも、歩行者をはねるなど自転車が加害者になることも少なくなく、高額な賠償金の支払い義務を負うケースも増えています。事故の加害者にも被害者にもならないために、交通ルールを守った安全な走行を心がけましょう。



賠償金 5,438万円

成人男性が昼間、信号無視をして高速度で交差点に進入し、横断中の女性(55歳)と衝突。女性は11日後に死亡した。(東京地裁・平成19年4月11日判決)

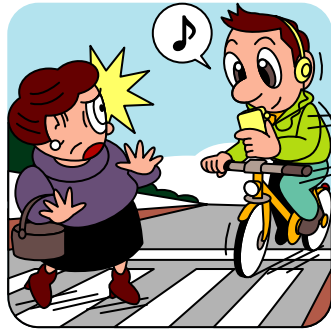
賠償金 5,000万円

女子高生が夜間、携帯電話を操作しながら無灯火で走行中に前方の女性(57歳)と衝突。女性には重大な障害が残った。(横浜地裁・平成17年11月25日)

(日本損害保険協会資料による)

こんな危険な走行をしていませんか?!

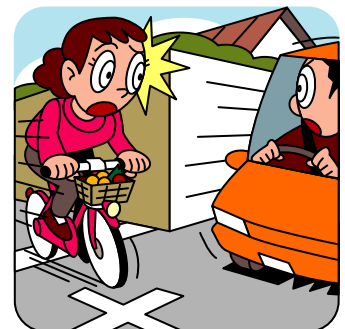
携帯電話やヘッドホンなどを使用しながら走行



*周囲に対する注意が欠けて、歩行者や他の車両を見落としてしまいます。

●走行中の携帯電話やヘッドホンなどは非常に危険であり、使用は禁止されています。

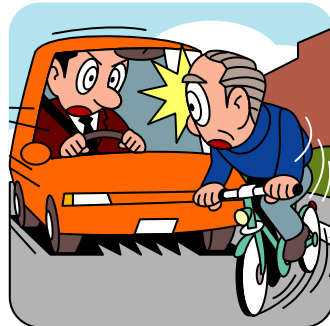
見通しの悪い場所で安全を確認しないで進行



*自転車事故の中で最も多く発生している出会い頭事故を招いてしまいます。

●見通しの悪い交差点では確実に一時停止して、交差道路の安全確認を行いましょう。

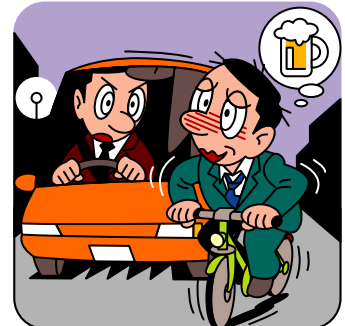
後方を確認しないで急に進路変更をしたり道路横断をする



*後方から接近してくる車両との衝突事故を招いてしまいます。

●進路変更や道路横断をするときは、必ず後方から車が接近していないか確認しましょう。合図も確実に実施しましょう。

お酒を飲んで自転車を運転する



*自転車の場合も、飲酒運転は禁止されており、酒酔い運転をすると「5年以下の懲役又は100万円以下の罰金」の処分を受けます。

●飲酒運転は悪質・危険な違反行為です。「飲んだら乗るな」を自転車の場合も徹底しましょう。

★自転車は道路交通法で定める車両です。無謀・暴走運転を行った場合、厳しい罰則が設けられています。